

## 応急給水拠点見直しについてのアンケート調査結果

調査期間：平成 29 年 11 月 29 日(水)～12 月 20 日(水) (22 日間)

モニター登録者数:231 人

うち回答者:65 人 (28.14%)

**問 1** 30 か所の施設は、応急給水拠点としてふさわしいと思いますか。

**結果** 「ふさわしい」、「概ねふさわしい」などの意見が 65 名のうち 60 名と、回答者の 92%を占めました。このことは施設選定の結果としては、概ねご理解を得られたものと考えております。

しかし、残り 5 名の方からは「ふさわしくない」との回答もいただいています。

**問 2** 「ふさわしくない」と答えた方は、代わりにどの施設がふさわしいと思いますか。

**結果** お答えいただいた具体的な施設としては、「成沢地区は産業支援センターより避難所である成沢小学校が良い」、「諏訪地区は諏訪小より諏訪コミュニティセンターが良い」、「助川学区は助川小学校よりアクセスの良い助川中学校が良い」とのご意見でした。

今回の施設選定は、コミュニティ単会毎に最低でも 1 か所以上の給水拠点を設けることを目的に行ったものです。施設の選定に当っては、避難所指定の有無、給水車の進入路の状況、市民の皆さんのアクセスと駐車場の確保、応急給水活動を行う場所の確保(広さ)を考慮して、それぞれの地区毎の公共施設を評価し、基本となる 30 か所を選定しました。実際には、災害時の状況に応じ、より柔軟な対応をしていきたいと考えています。

**問 3** 日立市企業局では今回、人員、資機材を最大限活用すると共に、他の復旧業務とのかねあいを想定し、市内全域で拠点を 30 か所選定しました。拠点数についてはどう思いますか。

**結果** 「ちょうど良い」、「少なくて良い」などの意見が 65 名のうち 38 名と、回答者の 58%を占め、企業局が設定した拠点数 30 か所の考え方にご理解をいただいた方が半数以上であったのに対し、残り 27 名(42%)の方は、拠点数を増やすべきとの意見でした。

**問 4** 市内の応急給水拠点として、ふさわしい拠点数とはどの程度だと思えますか。

**結果** 拠点数 30 か所より拠点数を多くした方が良くとした方が、望む拠点数については 40～200 か所と様々な意見をうかがうことができました。

しかし、災害により全市におよぶ断水が想定される場合、企業局の限りある職員で、応急給水活動以外にも、災害発生直後の初動対応から施設復旧までの一連の作業を同時に実施しなければなりません。今回は、人や資材の配置、運搬計画のシミュレーションを行い、現体制で責任をもって対応できる最大限の拠点数を 30 か所としたものです。ご理解をいただきたいと思えます。

企業局では、今後、皆様が安心して、出来るだけ早く水の確保ができるよう、地域毎の応急給水活動の内容や、拠点情報を積極的に公表し、PR していこうと考えています。皆様におかれましても、これを機会に日立市の防災情報等をご確認いただき、災害時の水の確保についても日頃から関心をもっていただければ幸いです。

以 上